



25mm

## 第 79 回農業食料工学会年次大会に関する研究 —講演要旨の執筆要領—

○農業太郎<sup>1\*</sup>，食料花子<sup>1</sup>，工学次郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>○○大学△△研究科，<sup>2</sup>□□農業研究センター◇◇部

### 【研究目的】

本テンプレートは Microsoft Word（スタイル定義済）を用いて，農業食料工学会年次大会講演要旨に掲載する講演要旨原稿を作成するためのものである。

原稿用紙は A4 版（縦 297mm×横 210mm）1 ページとし，上下左右の余白はいずれも 25mm とする。

要旨全体を通して用いるフォントは，日本語は“明朝体”，英数字は“Times New Roman”とする。

### 【実験方法】

執筆要領を以下に示す。

講演題目および発表者氏名・所属を記載するセクションのページ設定は，段組み無し，1 ページ行数を 43 行，1 行文字数を全角 45 文字とする。

- ・講演題目：11pt のボールド体で中央揃えとし，副題があれば次行に記載する。
- ・発表者の氏名と所属：氏名と所属いずれも講演題目（副題）の次行に中央揃えにおいて 10pt で記載する。連名の場合は，カンマで区切り，続けて記載し，講演者氏名の前に<sup>○</sup>印（上付き）を付す。

氏名の後ろに所属を示す半角数字<sup>1</sup>（上付き，複数の場合には<sup>1</sup>，<sup>2</sup>，…）を付す。代表者氏名の後ろには\*（半角）を付し，その連絡先（Tel，Fax，E-mail のうちいずれか）を参考文献または本文の最終行に記載する。

本文を記載するセクションのページ設定は，2 段組み，段組み間隔 12mm（全角 3.4 文字），1 ページ行数を 43 行，1 行文字数を全角 21 文字とする。

- ・本文：発表者所属の下 1 行を空けて記載する。  
本文は，【研究目的】・【実験方法】・【結果と考察】・【参考文献】などの見出しを付して記載する。

### 【結果と考察】

図（写真を含む）を掲載する場合は，図の下にキャプション（9pt）を記載する。表の場合は，キャプション（9pt）を表の上に記載する。

図や表の中の文字は見易い大きさにするよう心掛けて，9pt 以上を目安とする。また，写真は必要最小限に留める。



図や写真

図 1 図や写真のタイトル（9pt）

### 【参考文献】

本文中で文献を参照するときは，例<sup>1)</sup>，例<sup>2-4)</sup>のように上付きの番号を順番に付す。文献リスト（9pt）の書式については下記の通りとする。

- 1) Noki, T., Nosyoku, H., 2016, Automatic control of agricultural machinery, J.JSAM, 78(5), 120-126
- 2) 農業太郎，食料花子，工学次郎，2015，収穫後処理に関する研究，農食工誌，78(5)，127-135

← 25mm →

\*E-mail: nogyoshokuryo@j-sam.org

要旨原稿の提出に際しては，フォントを埋め込んだ pdf ファイルで提出して頂くようお願い致します。



25mm



25mm